

(平成 29 年) 脳活コスモス・旅行記録シート集

3 月 1 4 日 テーマ【上座・臼井史跡散策】 K・H 記

今年の旅行始めは地元をゆっくり歩こうと言う事で、京成線の一駅分を歩くコースにして途中の史跡を巡ることにした。小雨降る中、参加者 3 人だったが決行することに。途中の宝樹院では S さんが墓地からの景観をすっかり気に入って、住職に空き墓地の説明をしてもらう一コマも。果たして旦那さんと相談して買うのかどうか？

レストラン「馬車道」のピザ食べ放題のスパゲティランチで腹を一杯にした後、午後のコースへ。田久里砦跡、雷電の碑、道誉上人之墓と順調に進み、小さな旅を終える。美女二人に囲まれ、小雨交じりの散策もまた風情があって満足！



7 月 1 1 日 テーマ【スカイツリー界隈散策】 K・H 記

一週間前ころから腰痛に悩まされていて直前まで参加するか迷っていたが、なにクソ！俺は男の子だ！と気合を入れて家を出る。

全員無事に車内の待ち合わせ車両に乗車。今回の旅行も天候に恵まれそうだ。車中で脳トレパズル（正式名称失念）に全員無我夢中に悪戦苦闘する。そんな様子を見ていた我々と同年輩らしき男性から「それは何ですか？写真を撮らせて頂けますか？どこに行けば教えてくれますか？」等々矢継ぎ早の質問に「佐倉市高齢者福祉課が主催する“頭すっきり若返り教室”の自主グループが考えた問題です」とチャッカリ佐倉市もPRしながら教えてあげた。パズルに夢中になり過ぎ、乗り換え駅に着いたのに気付かず慌てて降車。その時にズキーンと腰に痛みが走り思わず蹲ってしまう。



自分は一度スカイツリーに上っているし夏場は景色がかすんでいると思いパス。3 人だけ昇って行った。感想はエレベーターの待ち時間もなく景色もよく見えて良かったと言っていた。やはり行くべきだったか。そらまちのレストラン街のトンカツ屋さんで昼食をとる。キャベツはお替り自由ということであったが少々硬いキャベツだった。



次は一風変わった「屏風博物館」へ。着なくなった着物や帯を加工して屏風に仕立ててくれるとのこと。記念品として結構注文があるらしい。墨田区が認定した「小さな博物館」だが中々良い企画であった。そして次は墨田公園内ある「牛島神社」へ。境内に鎮座されている「なで牛」は自身の身体の患っている部位と同じところ撫でると快癒するとの謂われがある。丁度良いので腰を撫でようとしたが腰がどこなのか良く分からなかったのでお尻から背中まで全部撫でておいた。さてどうなるか？最後は「すみだ郷土文化資料館」色々と懐かしい資料が展示されていた。腰を騙しながらの旅行であったが何とか皆について行けた。



11月14日 テーマ【もう一度食いたい深大寺蕎麦】 N・H記

佐倉では朝方から雨がしとしと、家を出るところには止み京成八幡へ向かう。都営新宿線利用で本八幡から橋本行8:25発乗車、約1時間でつつじヶ丘へ。駅前ロータリーより9:38バス乗車、車窓から神代植物公園の紅葉、樹木の林立に目を奪われる。

20分ほどで深大寺に到着。まもなく鬼太郎茶屋が目に入る。本堂(右手にムクロジ・左手にはナンジャモンジャの木)・釈迦堂を参拝。水車館を探す。豊富な水の流れに水車がふさわしい。中に入り、仕組みを知り、農具を見るや、「これ知ってる、実家にあった、」などの声が聞かれた。

道すがら豊富な水の流れ、水底が透き通っていてこの水がそば作りに適しているのでは？と勝手に解釈したり。

そろそろお腹もすいてきたということで早めにそば処「湧水」に入る。このお店は「人気ランキング1位よ」と店員さんに告げるも、知らなかったようだ。中は満席なので外にする。ストーブ・ひざ掛けの助けもあり。湧水天盛りそばとそば羊羹をいただく。



食後、神代植物公園へ。65歳以上250円也。自販機で各自求める。今は盛りの菊、盆栽あり、懸崖仕立ての多種多様で色とりどり。サザンカ・バラ・ダリヤ、中でもダリヤは今までに見たこともない大きさ・色・種類に感激！バラはひとつひとつ匂いを嗅ぎながらの散策。

大温室へも足を運ぶ。入るや外気温より温室のモアーっとした空気をを感じる。中がまた大きい植物満載で素晴らしい。サボテン・ハイビスカス・かわいらしい葉のヒコウキソウ・中でも南米などに咲く奇想天々な花を職員の方に教えて頂けなければわからなかったり、見ごたえのある植物園を堪能できたのが大きな印象。

深大寺発 13:19 で早めの帰途に就くことが出来ました。



神代植物公園にて

12月12日 テーマ【成田の電车道と東参道に行く】 Y・O 記

12月12日（火）快晴、今年の最終の活動を行った。2週間前に「当日は 9:45 京成成田駅に集合、参加者6名、雨天時は前日午後7時の天気予報で判断など」の打ち合わせをした。

当日、集合時間から駅に到着する電車2本を遅らせて待ったが、集合は4名でした

めげず15分遅れで足も軽く元気良く出発し、一路東に向かう。10分程でさくら並木の電车道を歩く。



明治43年に宗吾霊堂と成田を結ぶ軽便鉄道(成宗電車)が作られ、終戦直前昭和19年12月に廃線となったという。歩道がさくら根上りのためか、盛り上がり、かつひび割れし歩き難さを感じながら歩くとレンガ作りの土木遺産のトンネル2

つ。レンガの古さから明治を感じる。2年後、年号平成が消えるとまた明治が遠くなる。古い町並をあるくこと35分、「永興寺(ようこうじ)」に着く。このお寺には江戸時代の剣豪小野父子の墓があるという。同寺は保育園が併設され、境

内入口で門が仕切れ中は園児が遊戯中で中には入れず。さらに歩いて10分この地区の鎮守保目（ほうめ）神社を参拝し、本日の活動の無事を祈念する。

町通りから脇道山道5分程登り中世の城跡の「寺台城址」に着く。城跡には祠と石碑が建つ。そこから南の空を見ると数分おきに北に旅客機が青空を飛んで行く。ここで時間調整し、予定通り11時05分出発、成田山の三重の塔を目指す。同山の裏手にある「名取亭(料亭)」から残る紅葉🍁を楽しみながら散策道を歩くが、すれ違い人も少ない。2m程の散歩道の両側には多数の銅像や板碑が建つ。



寺台城址からの展望

成田山境内は外人の着物姿が見られ、また来年の初詣を迎える準備を見ながら参拝する。門前通りを15分かけて歩き、昼食場所の「なごみの米屋」に3分早めに到着する。事後の忘年会を考えて、そば・うどんの控え目の昼食をとる。13時00分計画通りに本日のメイン2つ目の酒造業「滝沢本店」のに入る。

「滝沢本店」は、県内40軒の酒飲みづくりを営む1軒、日本酒「長命泉」で良く知られている。若女将から酒造りの説明と工場内の案内を1時間程していただいた後、同店の日本酒3点の試飲をする。少量だが19度にほんのり火照る頬を擦る。14時45分京成成田駅ホームで登り電車を待つ。

あれ一何と偶然にも本日参加予定の仲間1名に遭遇する。一人で当初計画の旅行程シート日程(集合時間・場所が異なる)で旅をしてきたという。何となんと最終が一緒になるとは、これも成田山へのお導きであろうと一同で感謝する。



1時間遅れで京成臼井駅近くの居酒屋に5人で入る。夕方には時間が早いためか貸切りで、酒造りの見学体験話・お酒のクイズとアクシデントそして来年の予定を肴に楽しい交流会となりました。



居酒屋で飲み納め

終わりに、見学先の永興寺の掲示板に「風は目に見えないが 草の上でその姿をあらわす」とあり今日の活動一日の締めくくりとしました。

本日歩いた歩数は、10434歩、7.3キロ。